

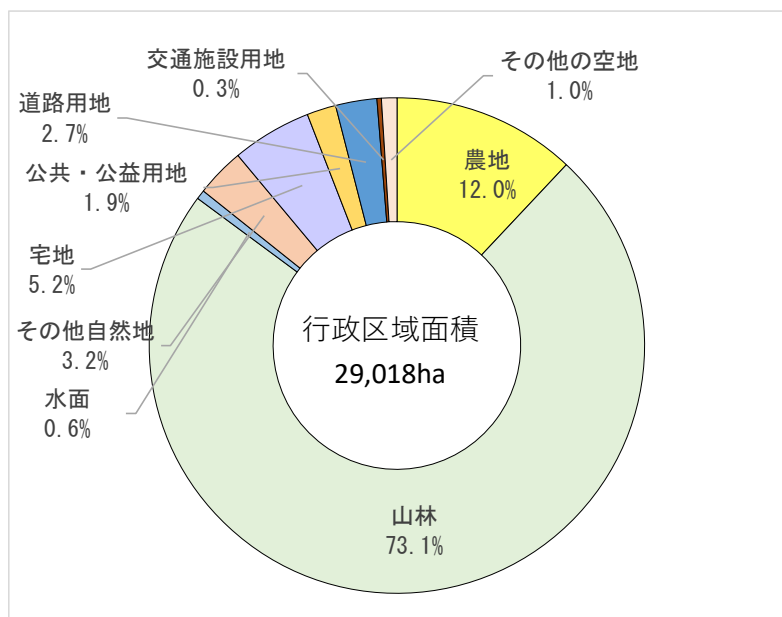
### 第3章 塩尻市の地域特性

#### 1 塩尻市の概要(土地利用、気候、人口、産業、交通)

##### (1) 土地利用

本市は、松本盆地の南端、長野県のほぼ中央に位置し、北アルプス、鉢盛連峰、東山・高ボッチ山、さらに中央アルプスの山並みを背景に田園風景が広がります。市内には、信濃川水系の奈良井川と田川、天竜川水系の小野川が流下し、塩尻峠、善知鳥峠、鳥居峠などは日本海と太平洋の分水嶺となっています。地形は、扇状地形で、東西 17.7 km、南北 37.8 kmと南北に細長く、面積 29,018ha の市域を有しています。

塩尻都市計画基礎調査報告書によると、本市の行政区域面積は図 2 に示すとおりであり、29,018ha の行政区域面積のうち、約 73%が山林と最も多い面積を占めています。その他に、農地が約 12%、その他自然地が 3.2%等、自然環境が広く分布しています。



注 1: 塩尻都市計画基礎調査報告書のデータを基に作成。

図 2 塩尻市の行政区域面積

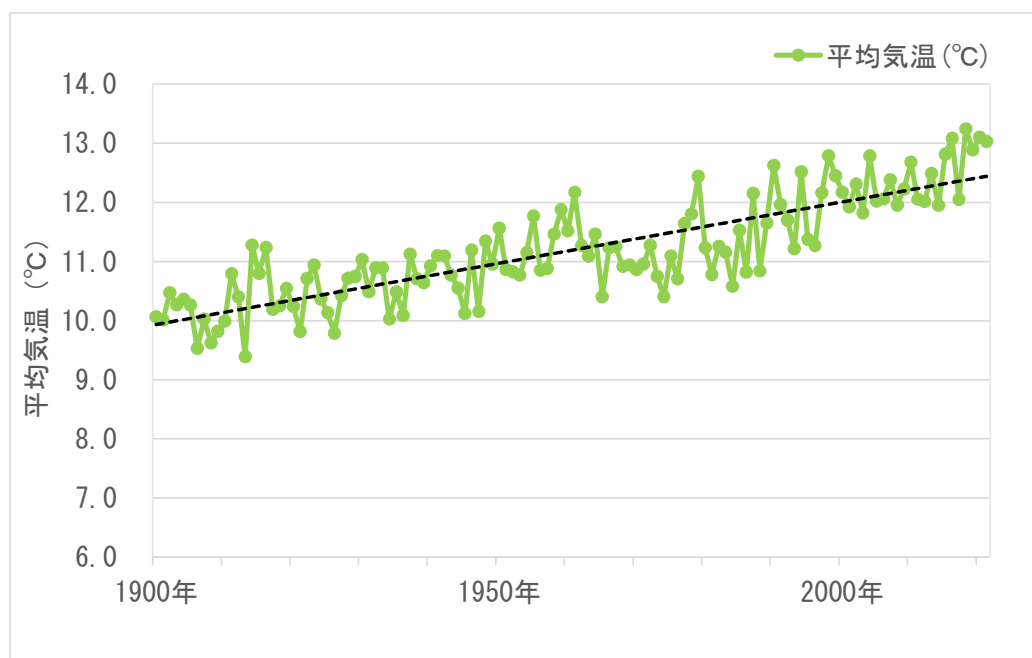
## (2) 気候

気象庁の観測データによると、日本全体及び長野県と同様に、本市の年平均気温も上昇傾向となっています。過去 10 ヶ年(2012～2021 年)の平均気温は 12.7℃でした。平均的にみても観測開始時よりも 2.0℃以上、上昇しています。更に近年は日最高気温が 30℃以上と観測された日数が増加する傾向にあります。

年降水量は、1,000mm 前後で推移しています。日降水量 30 mm 以上の日数は、2012 年以降、6 日間又はそれ以上となっています。

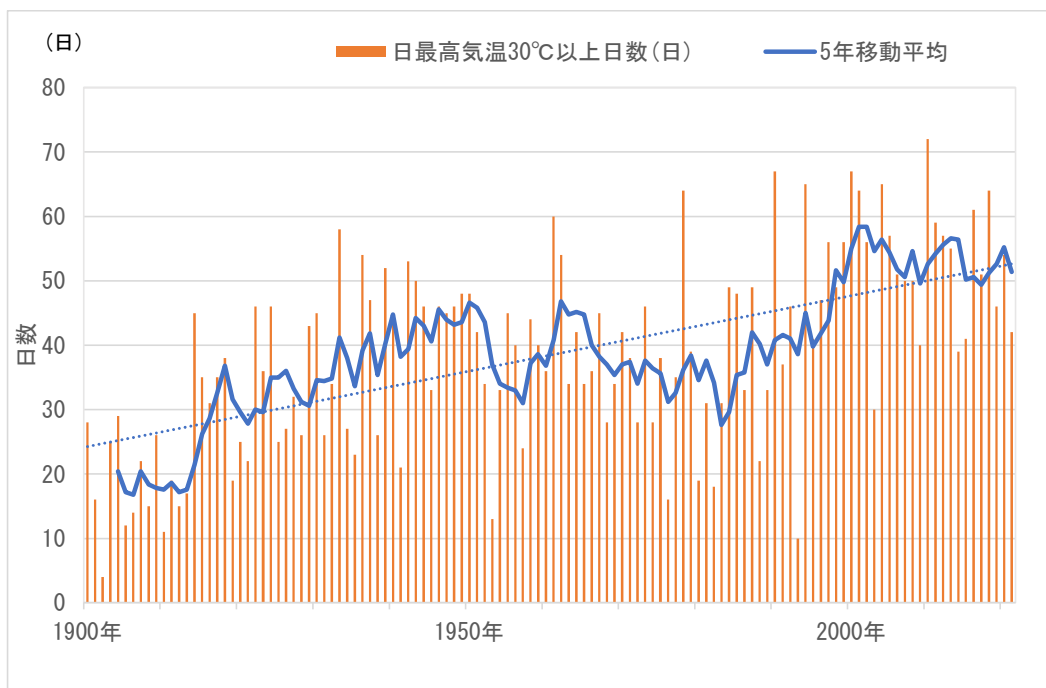
年降雪量は、2014 年に 146cm を記録しましたが、近年は減少傾向にあり、減少傾向にあり、2021 年は 12 cm でした。

年日射時間は、年によって異なりますが、2,200 時間前後で推移しています。



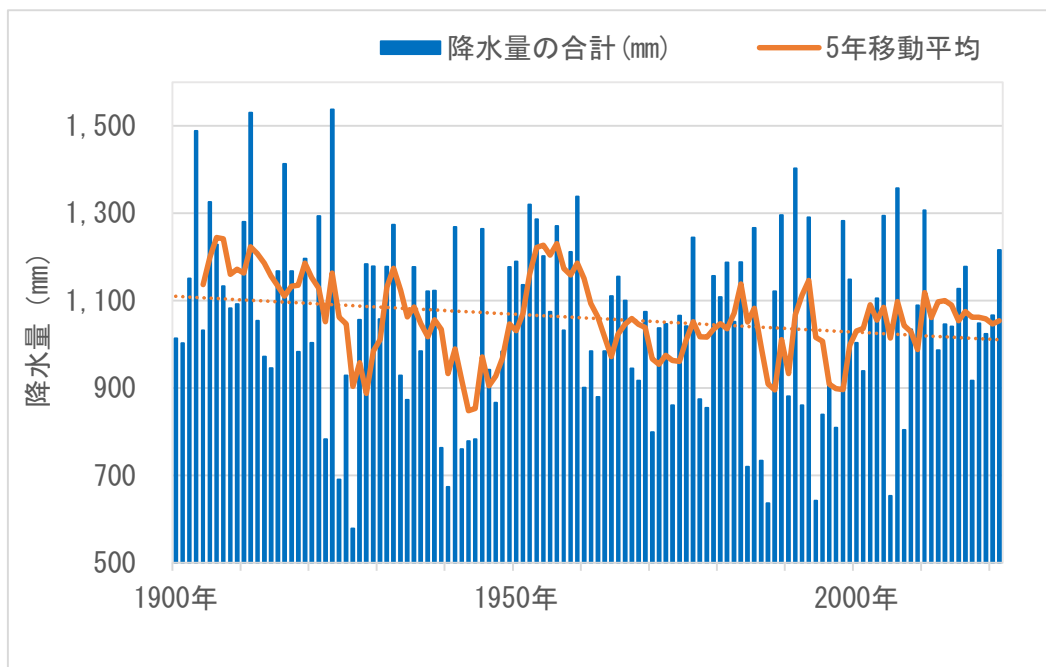
注 1: 松本特別地域気象観測所のデータを基に作成。

図 3 1900 年から 2021 年までの年平均気温



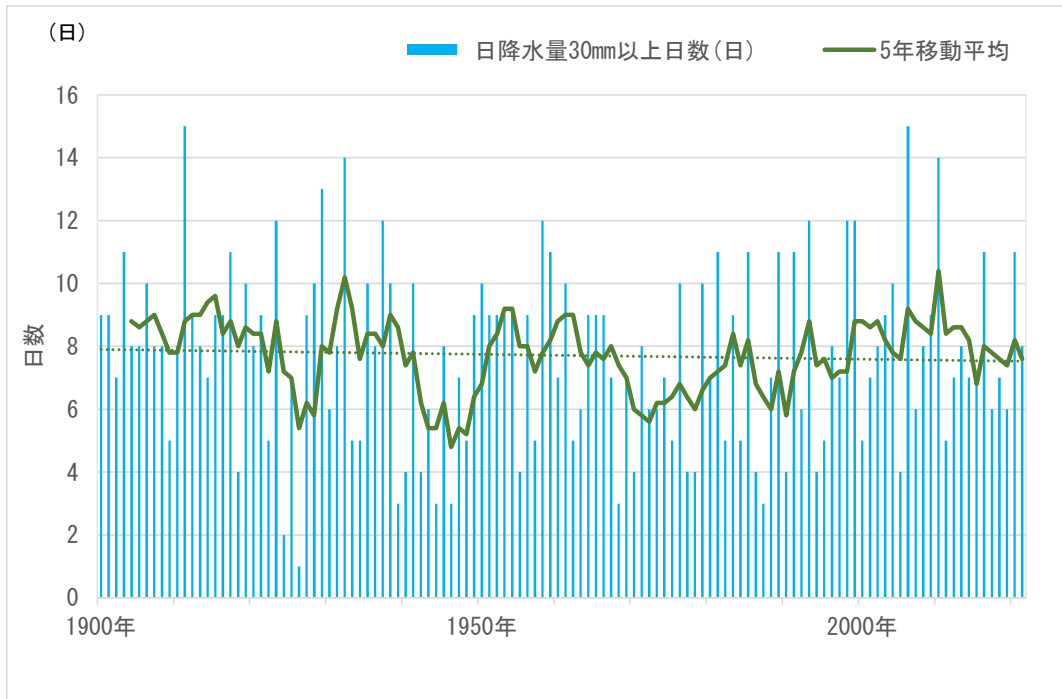
注 1: 松本特別地域気象観測所のデータを基に作成。

図 4 1990 年から 2021 年までの日最高気温 30℃以上の日数



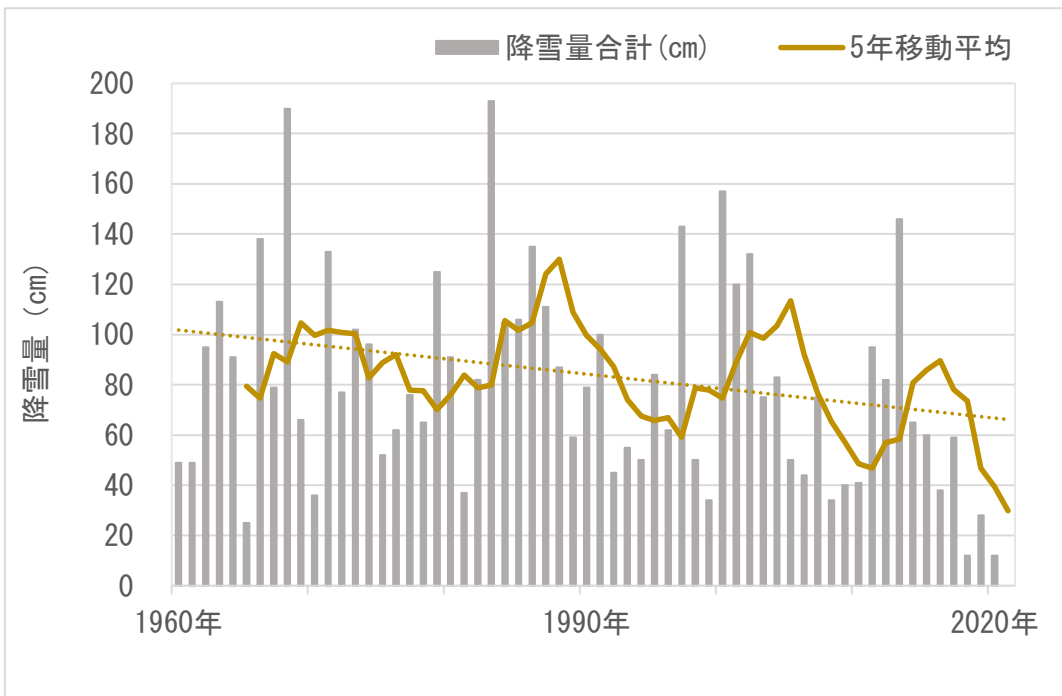
注 1: 松本特別地域気象観測所のデータを基に作成。

図 5 1990 年から 2021 年までの年降水量



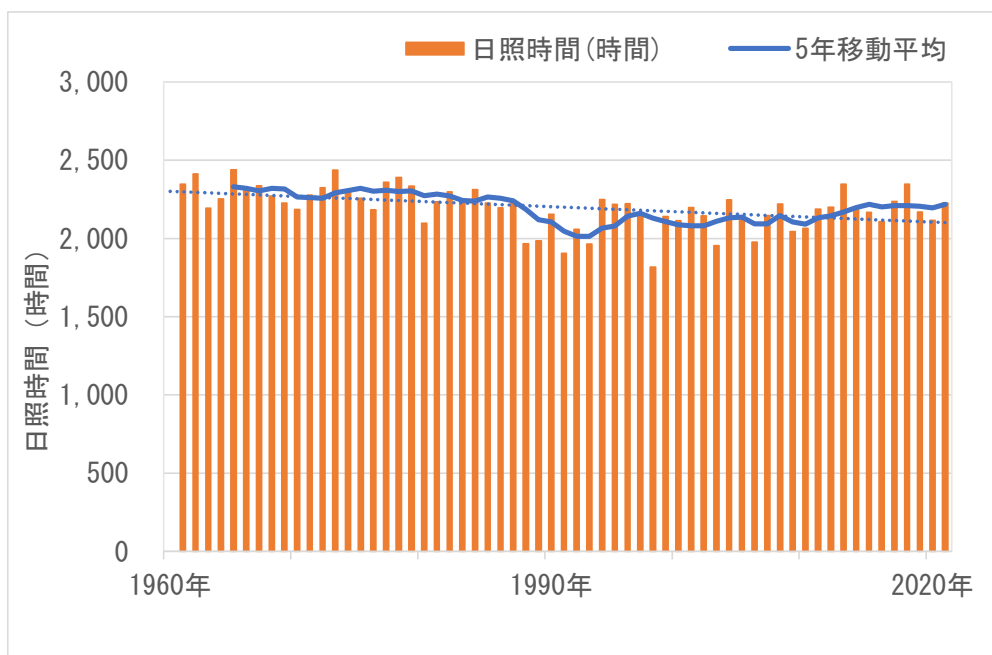
注 1: 松本特別地域気象観測所のデータを基に作成。

図 6 1990 年から 2021 年までの日降水量 30mm 以上の日数



注 1: 松本特別地域気象観測所のデータを基に作成。

図 7 1960 年から 2021 年までの年降雪量



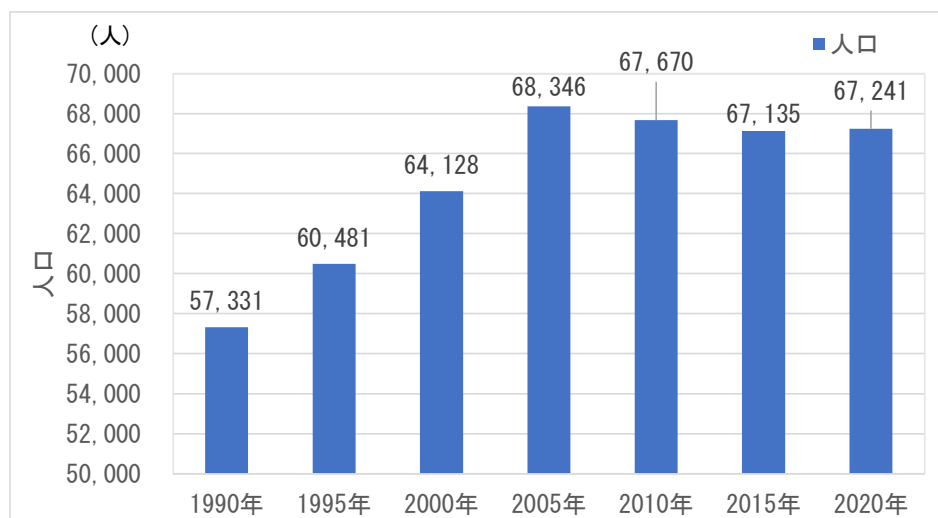
注 1: 松本特別地域気象観測所のデータを基に作成。

図 8 1960 年から 2021 年までの年日照時間

### (3) 人口

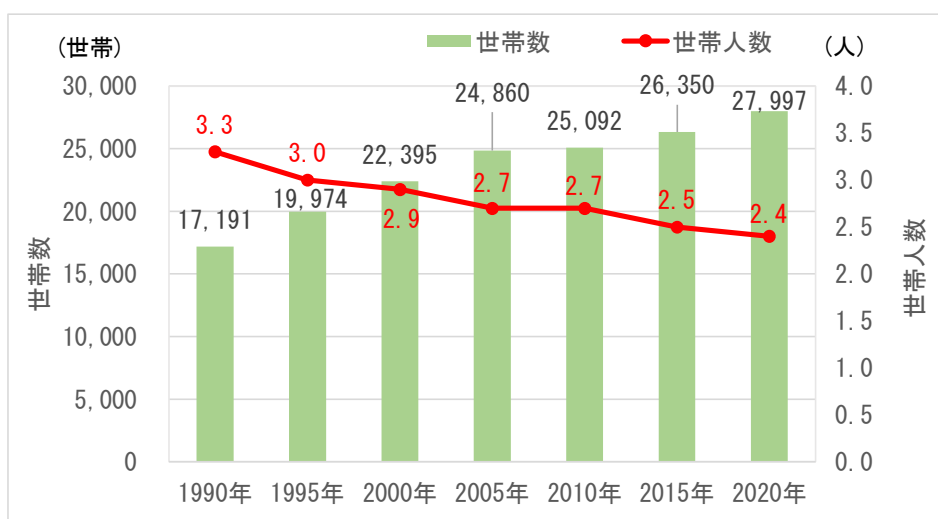
国勢調査によると、塩尻市の人口は、2005 年の 68,346 人をピークに減少傾向にあり、2020 年は 67,241 人でした。なお、2022 年 4 月 1 日時点における住民基本台帳の登録に基づく人口は 66,127 人です。

世帯数は、年々上昇傾向にあり、2020 年は 27,997 世帯でした。一方で、世帯人数は減少傾向にあり、2000 年以降は 1 世帯 3 名を下回っています。



注 1: 国勢調査のデータを基に作成(10 月 1 日現在)

図 9 1990 年から 2020 年までの塩尻市の人口



注 1: 国勢調査のデータを基に作成(10 月 1 日現在)。

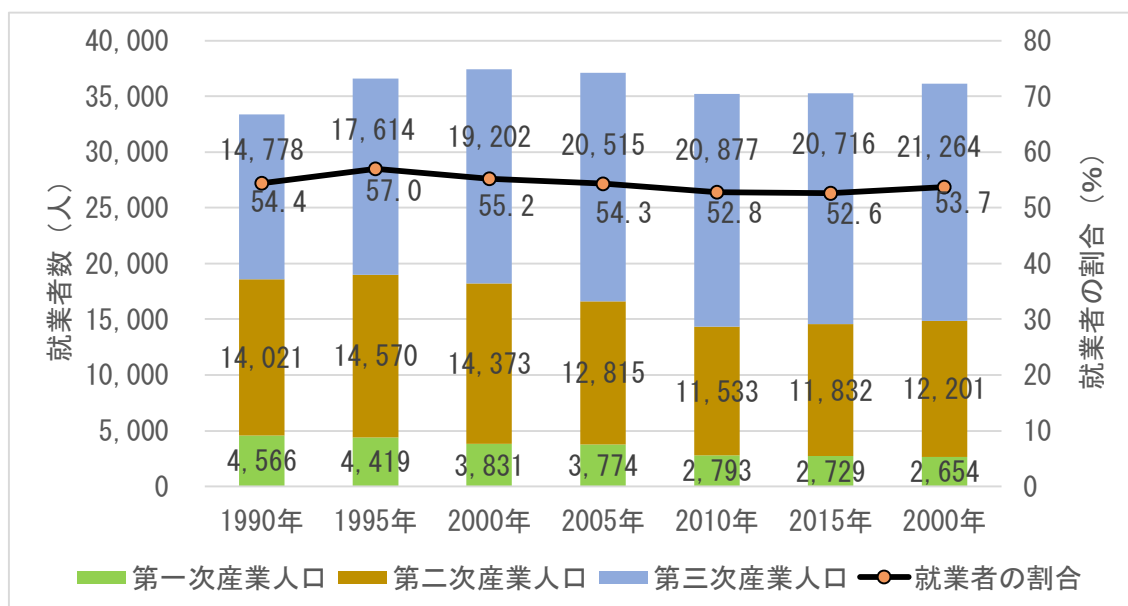
図 10 1990 年から 2020 年までの世帯数及び世帯人数

#### (4) 産業

国勢調査によると、本市の産業人口のうち、約 10%が第一次産業、30~40%が第二次産業、約 50~60%が第三次産業で構成されています。また、15 歳以上の就業者数は約 35,000~37,000 人であり、就業率は 55%程度で推移しています。

表 3 1990 年から 2020 年までの産業別就業者数及び就業者の割合

年	第一次産業人口(人)	第二次産業人口(人)	第三次産業人口(人)	15 歳以上就業者数(人)	就業者の割合 (%)
1990 年	4,566	14,021	14,778	33,408	54.4
1995 年	4,419	14,570	17,614	36,641	57.0
2000 年	3,831	14,373	19,202	37,421	55.2
2005 年	3,774	12,815	20,515	37,115	54.3
2010 年	2,793	11,533	20,877	35,770	52.8
2015 年	2,729	11,832	20,716	35,371	52.6
2020 年	2,654	12,201	21,264	36,116	53.7



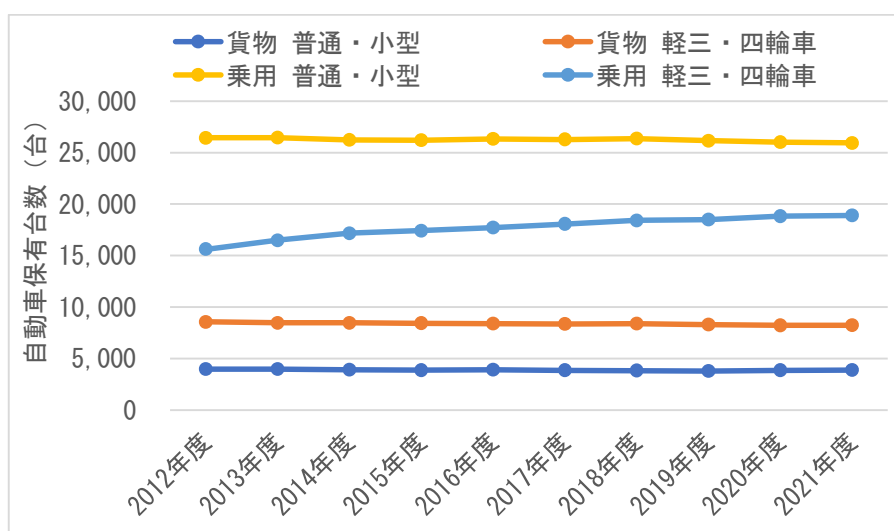
注 1: 国勢調査のデータを基に作成(10 月 1 日現在)。

図 11 1990 年から 2020 年までの産業別就業者数及び就業者の割合

## (5) 交通

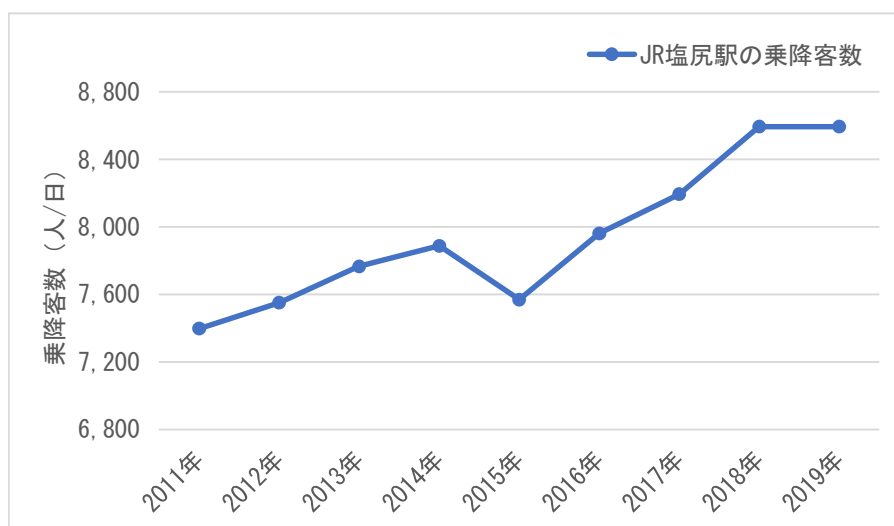
過去 10 年間の自動車保有車両数をみると、乗用車(普通・小型)は近年、減少傾向にありますが、乗用車(軽三・四輪車)は、やや増加傾向にあります。貨物車は、普通・小型、軽三・四輪車ともに大きな変動はありません。

また、鉄道においては、本市の主要な駅である JR 東日本塩尻駅の 1 日あたりの乗降客数は、2015 年に若干減少しましたが、全体をみると増加傾向にあり、2018 年及び 2019 年は、約 8,600 人となっています。



注 1:北陸信越運輸局のデータを基に作成。

図 12 2012 年度から 2021 年度までの種類別自動車保有台数



注 1:国土数値情報 駅別乗降客数データのデータを基に作成。

図 13 2011 年から 2019 年までの JR 塩尻駅の乗降客数



## 2 塩尻市のこれまでの取組

本市では、2002 年に ISO14001 の認証を取得し、積極的に環境改善活動や環境負荷低減活動に取り組んでいます。

ISO14001 による取組を着実に実施していくことは、日常業務活動の中で、率先的に環境に配慮した行動を実践することにつながり、地球環境保全への意識向上が図られるとともに、本市の事務及び事業に伴って排出される温室効果ガスを削減していくための有効な手段と考えられます。

市民向けの取組としては、新エネルギー導入普及促進事業(太陽光発電、太陽熱高度利用)、住宅用省エネルギー設備設置費補助金事業(家庭用蓄電池、省エネナビ、HEMS)、薪・ペレットストーブ等の設置補助金事業による再生可能エネルギーの導入及び省資源・省エネルギーの有効活用や、環境訪問出前講座や市内小学生の児童対象に「しおじりの環境ワークブック」の配布等による地球温暖化防止に関する啓発や情報提供を行ってきました。

また、事業所向けの取組としては、「塩尻環境スタンダード」による環境マネジメントシステムを導入し、環境改善活動や環境負荷の低減活動の推進や、ISO14001、エコアクション 21 等の認証取得の際に補助金を交付する等の支援を行ってきました。

このように、市・市民・事業所が一体となり、市域全体から排出される温室効果ガスの削減に向け、今後も取組を推進していきます。